



2017年12月26日

株式会社スカイディスク
損害保険ジャパン日本興亜株式会社
SOMPOリスクアマネジメント株式会社

スマートファクトリー向け保険商品・サービスの共同研究開始

～スカイディスク・損保ジャパン日本興亜・SOMPOリスクアマネジメントで提携～

株式会社スカイディスク（福岡県福岡市、代表取締役CEO：橋本 司、以下「スカイディスク」）、損害保険ジャパン日本興亜株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）、SOMPOリスクアマネジメント株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：布施 康、以下「SOMPOリスクア」）の3社は、スマートファクトリー※社会の到来に向けたプラント・機械における新たなリスクの調査・研究および保険商品・サービスの開発を目的とした共同研究（以下「本共同研究」）を2017年12月から開始します。

※スマートファクトリー：工場内のあらゆる機械とインターネット環境をつなげることで、機械の稼働状況を詳細に把握・蓄積し、この情報をもとに工場全体の効率的な稼働を実現することで、最大の利益を生み出す環境を満たした工場のことをいいます。

1. 背景と目的

- ・スカイディスクは、人々の生活や社会環境を豊かにするために、IoTデバイスで収集したデータをAIで分析し、機械の故障予知などを行うクラウドAIサービス「SkyAI」をご提供しています。
- ・損保ジャパン日本興亜およびSOMPOリスクアは、お客さまの「安心・安全・健康」を支援するため、保険商品や事故の未然防止サービス等をご提供し、自然災害や企業の事業活動に関する数理的なリスク分析・評価に関するノウハウを培ってきました。
- ・今後到来する超スマート社会では、企業の事業活動はIoTによりさまざまなデータがつながり、有効活用されることで、技術革新や生産性向上、技術伝承などの課題解決が図られていきます。一方、これらの技術の進展や企業のビジネスモデルの変革に潜む新たなリスクの調査・研究が必要不可欠なものとなっています。
- ・本共同研究では、これまで熟練工が担っていた異常故障検知へのAIの活用や、AI活用に潜む新たなリスクの調査・研究に対応する保険商品・サービスの開発により、企業の事業活動におけるリスクの極小化を目指します。

2. 主な研究および取組内容

- (1) プラント内のボイラ・回転機械における異常故障検知手法の研究
- (2) プラント内の設備・什器へのI o T導入により発現するリスクの研究
- (3) 上記(1)(2)に関連する保険商品・サービスの開発

3. 今後について

スカイディスク、損保ジャパン日本興亜およびSOMPOリスケアは、本共同研究開始を機に、新たな保険商品・サービスを共同開発し、スマートファクトリー社会の実現に貢献していきます。

以上